

まちづくり大学第12期 Bコース No2テーブル Gワーク記録

平成28年10月9日 文責 木下

No	項目	内容
1.	開催日時・場所 G・W の時間	平成28年10月8日(土) 9時30分～12時 市民活動支援センター2階講堂 11時～12時
2.	参加者 (受講生)	坂部円香、仙波富恵、高林忠晃、竹田いさむ、福田長子、丸山晃子、山本耕平 山本晋也、山本久恵 (支援センター) 伊勢田/コーディネーター、木下/記録
3.	意見交換	<p>簡単な自己紹介の後、「自分でできるごみ減量」をテーマに意見交換を行った。 以下に発言内容の要約を列記する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物を買うのを控えている <ul style="list-style-type: none"> ・余分なものを買わない ・認知症の祖母が不要なものを買うので管理するようにした ・お茶、飲み水を持参している ・弁当は買わずに持参している 2. 生ごみの処理方法について <ul style="list-style-type: none"> ・コンポストを利用し肥料や畑の土として使っている ・生ごみ処理機を使って堆肥として利用している ・生ごみを土に埋めている 3. マイバッグを使用する <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグを利用、持参している ・コンビニの袋はなるべくもらわないようにしている ・(意見) 業者によってマイバッグの場合ポイントを付けるところもあるが、たくさん売ればいいと意識が強くレジ袋をお構いなしに出すところがある。 市役所に働きかけて、行政から指導するようしないと実現困難。 4. 市民のごみ減量の意識をもっと高めるには <ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅の住民は戸建て住民に比べごみ減量の意識の低い人が多いのではないか ・(意見) 地域別にごみ発生量を表示して順位づけすれば意識が改善するだろうが、そのためには地域別発生量を把握できるようにすることが必要で、収集車の新鋭化やシステム化が必要でコストの問題が大きい。 ・(意見) 市民に対し広報等を使った行政からのPRがもっと必要 5. その他 自分たちでやっていること <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の裏紙を利用している ・缶やビンの分別を細かくやっている
	グループ別 内容発表	意見交換の後 No1、2テーブルの代表者が約7、8分程度グループ内の交流内容を発表して散会した

以上

いろいろなご意見をいただきありがとうございました。

